

ブータン国道1号線 橋梁架け替えが完成

コンサルはオリコンサルグローバルJV

大日本土木が施工



開通したチュゾムサ橋

ブータンの国道1号線橋梁架け替え計画が完成し、6月28日に現地で開催式が行われた。国際協力機構（JICA）が同国政府と無償資金協力の贈与契約を締結して進めているもので、オリエンタルコンサルタンツグローバル・アンジェロセック共同企業体が準備調査から詳細設計、工事入札補助、施工監理までのコンサルティングサービスを一貫

して担当。大日本土木が施工した。

ブータンは国土の大部分が山岳地帯にあり、道路交通が最も重要な交通・輸送手段となる。国道1号線は国内の東西をつなぐ唯一の幹線道路だが、老朽化した橋梁が多く、今回の計画では特に補強や架け替えの技術的な難易度が高いチュゾムサ橋、ニカチエ橋、ザラムチュ橋の3橋を曲線を含む大規模PC箱桁橋に架け替えた。これにより安定した交通、運輸の確保に寄与し、地域経済の活性化につながる。ことが期待されている。